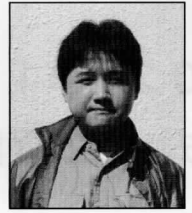


<タンチョウのことを知ろう>

釧路市動物園 ツル担当 学芸専門員
吉野 智生



タンチョウと年齢

気づけば冬も半ばを過ぎ、タンチョウのダンスや鳴き交わしがよく見られるようになってきました。タンチョウの繁殖期がそろそろ始まります。

皆様ご存じの通り、タンチョウは幼鳥のうち茶色の羽に覆われ、1歳になるころからだんだんと茶色と白から白と黒の羽衣に変わっていきます。1歳半を超すと、外見上ほぼ成鳥と同じようになりますが、風切り羽や雨覆の先端が黒いので、翼を広げたときなどに区別することができます。この時期を亜成鳥と呼んでいます。この黒い部分は3歳、正確には換羽した後に無くなるので、これ以降は羽の色で年齢が区別できなくなり、成鳥と呼ばれます。

基本的にタンチョウがつがいを組んで繁殖を始めるのは3歳以降です。ただ3歳になったら必ずというわけでもなく、なかなかつがいにならない（なれない？）

個体もありますし、逆に3歳未満で繁殖行動を取ったという事例も少数知られています。また、つがいになったらすぐ次の春に巣を作って卵を産むかという、必ずしもそうではありません。つがいごとに、あるいは個体ごとに、それぞれの事情があるようです。



雪の中のルビー

よく、タンチョウは人間に直すと何歳ですかと聞かれることがあります。これはなかなか難しい問いで、タンチョウは3歳で成鳥ですから、ではこれが人間でいう成人（今は18歳かな）かという、これは便宜上ですので違うと思います。性成熟と考えると10～12歳くらいとなりますが、上記に従って仮にタンチョウの1歳を人間の4歳とすると、例えば30歳のタンチョウは120歳に換算されますし、現在飼育下最高齢のマリは今度の春で46歳なので、184歳になってしまい、ギネス級どころか軽く飛び越えて聖書クラスです。それはちょっと想像もつきませんし、そも鳥と人間は同じようなペースで成長、老化するわけではありません。なので、あえて言うのであれば3歳から大人で、30歳くらいで割といいお歳ですよと、そのくらいになりますね。でも30歳過ぎて繁殖している個体もいますので、なかなか一口に定義できません。

ツルセンターで飼育しているメスのルビーは、この春で2歳になります。ダンスの真似事や、他のつがいにつられて鳴くことも増えてきました。成鳥になるにはもう少しですが、今後、つがいの形成を目指して飼育していくこととなります。うまく相手を意識してくれることを願っています。